

第 7 回 函館市医療・介護連携多職種研修会
ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センター 合同開催（案）

日 時：令和 4 年 9 月 10 日（土） 13：30～16：30

開催方法：ハイブリッド形式（会場と Web）

対 象 者：函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関係者

参加人数：会場 50～130 名 Web100 名

《参集方法》

- ①協議会参加団体（医師会，看護協会，在研，函医連，MSW協会，居宅連協，包括連協，訪リハ連協，訪看連協，老施協）
→各団体を通さず，センターから各医療機関・介護保険事業所等の多職種に向けて案内文を配布し，所属する機関等から参加申し込みをする
- ②協議会参加団体（歯科医師会・薬剤師会・柔整・函鍼連）
→各団体を通して，会員に向けて案内配布
- ③その他（老健協，GH協会，ヘルパー連協，デイ連協，栄養士会，歯科衛生士会，介護福祉士会，理学療法士会，作業療法士会，言語聴覚士会，社会福祉士会，精神保健福祉士協会，有サねっと）
→所属する各医療機関・介護保険事業所等に配布している案内文から参加申し込みが可能である旨を各団体長から会員へ周知していただく
- ④教育機関
→各機関へ
- ⑤行政
→各機関へ

*申込人数に達した場合は，×切日を早める事を案内文に記載

参加費：無料

テーマ：8050 問題の事例を通じ，多職種連携の必要性を考える
～知ろう！気づこう！繋がろう！！～

目 的：8050 問題の事例を通じ，多職種連携の必要性を理解し，医療と介護と福祉の連携と協働を強化する

目 標：・8050 問題の実際を知る
・8050 問題の事例から，多職種連携の必要性を理解する
・明日から自職種で何ができるかを考える事ができる

構成：＜オープンカンファレンス形式＞

ディスカッション，個人ワーク，発表（意見交換）

（内容）

オープンカンファレンス形式にて開催

参加者の皆様から意見を伺ったり，質疑応答をする予定です

- ・ディスカッション：事例の共有
- ・個人ワーク：会場及びWeb参加者
- ・ディスカッション：発表～質疑応答
- ・総評

○ディスカッション（70分）

*座長の進行により，座長と登壇者でディスカッションをしながら事例の理解を深める

（座長）

医療法人道南勤労者医療協会函館稜北病院 副院長 総合診療科科长 川口 篤也 先生

（登壇者）

函館市地域包括支援センター ゆのかわ 係長・保健師	京谷 佳子 様
居宅介護支援事業所 すず音 管理者・主任介護支援専門員	手塚 仁美 様
社会福祉法人 函館一条 相談支援事業所一条 相談支援専門員	長谷川 隆明 様
デイサービスセンター ももハウス 介護主任	山本 弥 様

○個人ワーク（10～15分）

*会場及びWeb参加者

＜テーマ＞

- ①事例のディスカッションを聞いた率直な感想
- ②明日から自職種（自分たち）で何ができるのか？（気づきや繋ぎ方など）
- ③質問

＜進め方＞

○ディスカッション～総評（50分）

*会場及びWeb参加者の皆様から意見を伺ったり，個人ワークの発表，質疑応答をする

*座長の促しで他者からの挙手がない場合，座長より指名して発表してもらう

*座長と各登壇者から総評いただく

*意見交換と総評の時間配分は座長にお任せする

○役割分担

開会挨拶	本間会長
閉会挨拶	（調整中）
総合司会	白川氏
サブ司会	阿部氏

- ・ウェブ担当（外部：エイケイビデオ，ステージカンパニー）

○研修会中止時

開催にむけた感染対策基準（資料10）に沿って，開催・延期の判断を行う